

番号	1	平成27年度公共事業再評価調書				担当課名 道路整備課	
事業名	道路改築事業			事業主体	静岡県		
箇所名	いっぽんこくどう かなやさがらどうろ 一般国道473号 金谷相良道路Ⅱ			関係市町村	島田市 菊川市		
事業採択年度	平成23年度		計画期間	平成23年度～平成31年度			
用地着手年度	平成25年度		工事着手年度	平成25年度			
再評価理由	新規事業採択(H23)後5年間に経過した時点で継続中						
全体事業費	百万円	投資状況 (百万円)	～H25年度	H26年度	H27年度見込	計	
	16,000		1,020	1,650	1,567	4,237	
事業概要	<p>(1)事業目的 金谷相良道路Ⅱは、 ①県内交通ネットワークにおける南北軸強化(【陸】・【海】・【空】のアクセス) ②産業・観光活性化への寄与 を目的とする。</p> <p>(2)事業内容 計画概要:延長3.3km 計画幅員 車道 7.0m(全幅 10.0m) / 2車線供用 道路工:2,250m 橋梁工:1,050m</p>						
【視点1】	<p>(1)事業を巡る社会情勢等の変化 ・静岡空港の乗降客数がH23→H26で約61%増加 ・静岡空港の貨物取扱量がH23→H26で約34%増加 ・奥大井の宿泊客数が、H23→H25で約20%増加</p> <p>(2)事業の投資効果 現時点(H27)の分析結果: B/C=2.25 ・総便益 (B) 318.03億円 走行時間短縮便益 305.77億円、走行経費減少便益 12.25億円、 交通事故減少便益 0.002億円 ・総費用 (C) 141.60億円 建設投資額 141.47億円、維持管理費 1.27億円、用地残存価値 -1.14億円</p> <p>(3)事業の進捗状況 事業費:26.5%(H27末) 用地費: 98.0%(H27末、全体面積113,800m²) 事業量:供用延長(0km/3.3km、0%(H27末)) 工事費: 19.5%(H27末) 事業は順調に進んでおり、早期完成を目指して事業を進めるものである。</p>						
事業の必要性	評価	継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない					
【視点2】 今後の事業の進捗の見込み	<p>現在、用地買収については約82%を完了しているが、残る地権者についても鋭意交渉を継続し早期の買収に努めていく。 また、工事についても、倉沢IC部分及び主要な橋梁など優先箇所から工事を進めており、早期完成を目指して今後も事業工程管理に基づき工事を進めていく予定である。</p>						
	評価	継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない					
【視点3】 新たなコスト縮減・代替案立案等の可能性	<p>新技術・新工法の活用、盛土区間における補強土壁や軽量材の採用、工事発生土の有効活用などによりコスト縮減を図っていく。</p>						
	評価	継続が妥当・視点3による見直し後継続が妥当・継続は妥当ではない					
対応方針案	<p>(1)対応方針案 本事業を (継続)・見直し後継続・中止) する。</p> <p>(2)理由 本路線は、地域高規格幹線道路として、南北軸を強化し、新東名・東名、富士山静岡空港、御前崎港の総合交通ネットワークに重要な役割を果たすものである。 本事業は、B/Cが2.25と1以上であり、事業も順調に進捗していることから、事業を継続し早期完成を図る。</p>						

一般国道473号 金谷相良道路Ⅱ 島田市菊川～菊川市倉沢

(「費用便益分析マニュアル」国土交通省道路局 都市・地域整備局 平成20年11月)

総括表

I) 総便益 B	318.03 億円
総便益 = [評価期間内に当該路線を整備しなかった場合に発生する経費] － [評価期間内に当該路線を整備した場合に発生する経費]	
II) 総費用 C	141.60 億円
総費用 = [当該計画道路の建設投資額] + [当該計画道路の検討期間内に必要となる維持管理費]	
III) 費用便益比 B/C	2.25

I) 総便益Bの算出

①各種費用のH42^{※1}の便益

	走行時間費用 (億円/年)	走行費用 (億円/年)	交通事故損失額 (億円/年)	合計 (億円/年)
整備しなかった場合 A	4,867.82	1,374.09	237.26	6,479.17
整備した場合 B	4,850.36	1,373.39	237.25	6,461.01

便益	17.46	0.71	0.01	18.17
A - B	時間短縮便益	経費減少便益	事故減少便益	

- ・「時間便益」：道路整備による走行時間短縮を賃金率等で金銭評価
- ・「走行便益」：走行円滑化による燃費向上等に伴う走行経費節約を金銭評価
- ・「事故減少便益」：道路整備により交通事故件数が減少し事故の社会費用が減少する評価
- ・表示桁数の関係で、計算値と一致しないことがある。

※1 交通需要推計の適用年次

※2 事故減少便益は「費用便益分析マニュアル(国土交通省)」の算定式により算出しており、条件によってはマイナス値になることもあるが、交通事故増加に繋がるものではない。

②総便益の算出

供用後50年間を評価期間としているため基準年の年間経費に各年の割引率をかけ、便益を算出し、当該道路を整備しなかった場合とした場合の差を求め、総便益とする。

	走行時間短縮 便益(億円)	走行経費減少 便益(億円)	交通事故現象 便益(億円)	総費用 (億円)
総便益(H32～H81)	305.77	12.25	0.00	318.03 … B

II) 総費用Cの算出

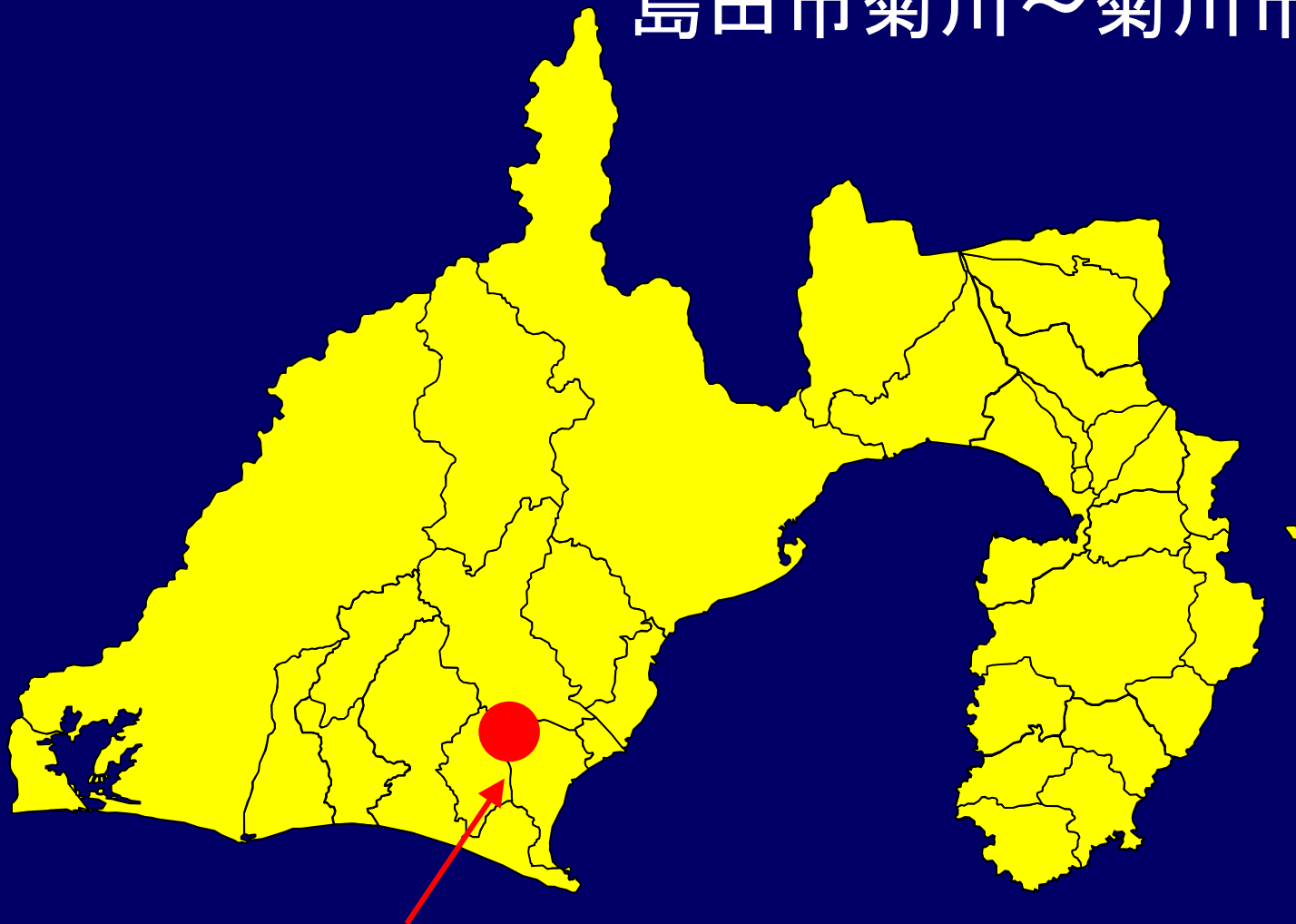
[総費用] = [建設投資額] + [維持管理費] - [用地費の残存価値]

事業費 (億円)	建設投資額 (億円)	年間維持管理費 用(万円/年)	維持管理費 (億円)	用地残存価値 (億円)	総費用 (億円)
160.00	141.47	7.47	1.27	1.14	141.60 … C

- ・「建設投資額」：建設費用を算出基準年次の価値で評価するために各年々次ごとに割引率をかけ、合計したもの。
- ・「維持管理費」：整備延長に対する年間維持管理費用に割引率をかけ、供用後50年間を合計したもの。
- ・「用地費の残存価値」：検討期間後の残存価値を現在価値化したもの。
- ・表示桁数の関係で、計算値と一致しないことがある。

事業箇所位置図

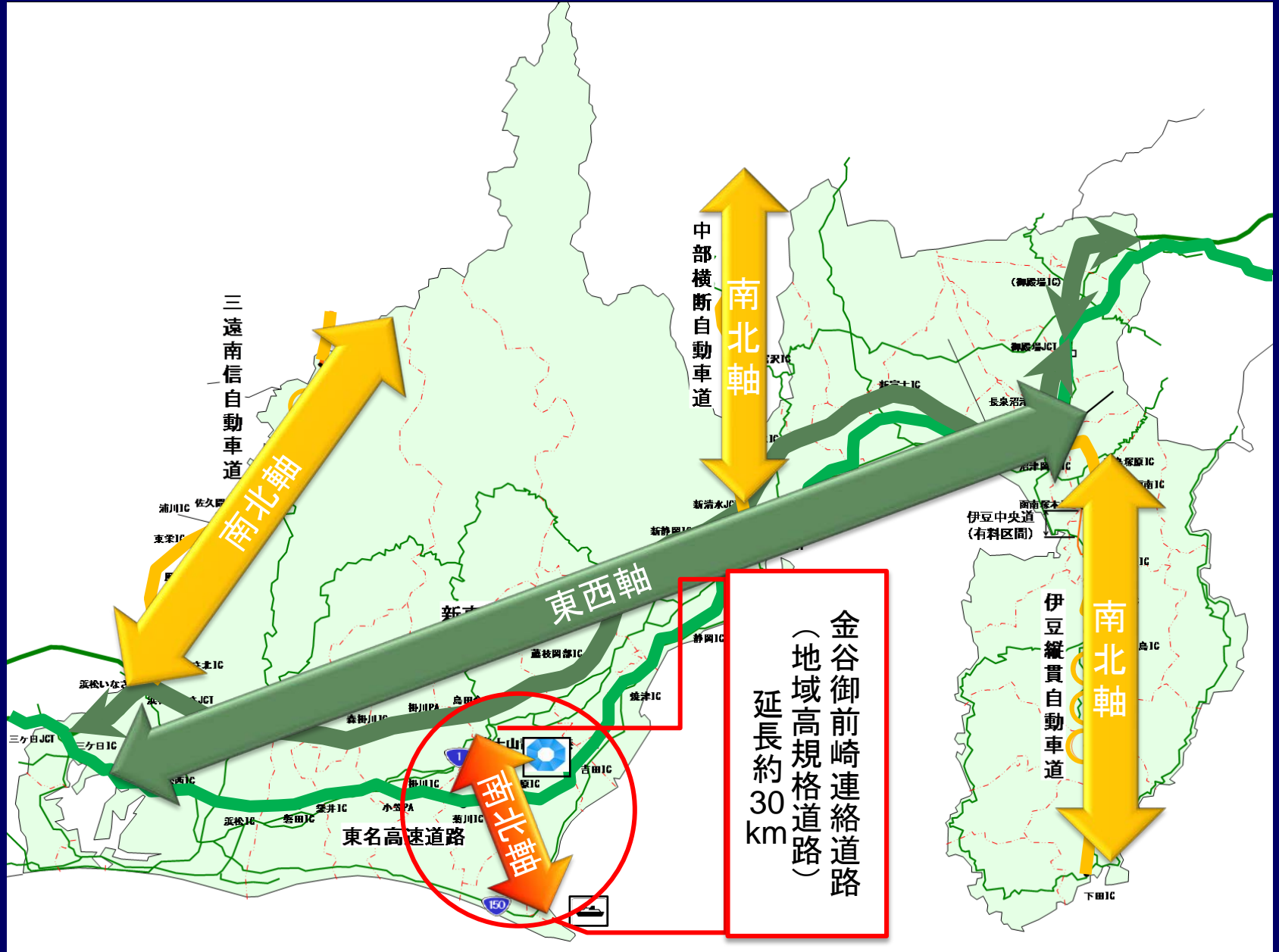
島田市菊川～菊川市倉沢



かなやさがらどうろ

(国)473号 金谷相良道路Ⅱ

事業背景(県内交通ネットワークにおける南北軸強化)



1 対象路線及び事業の位置



2 事業の概要及び目的

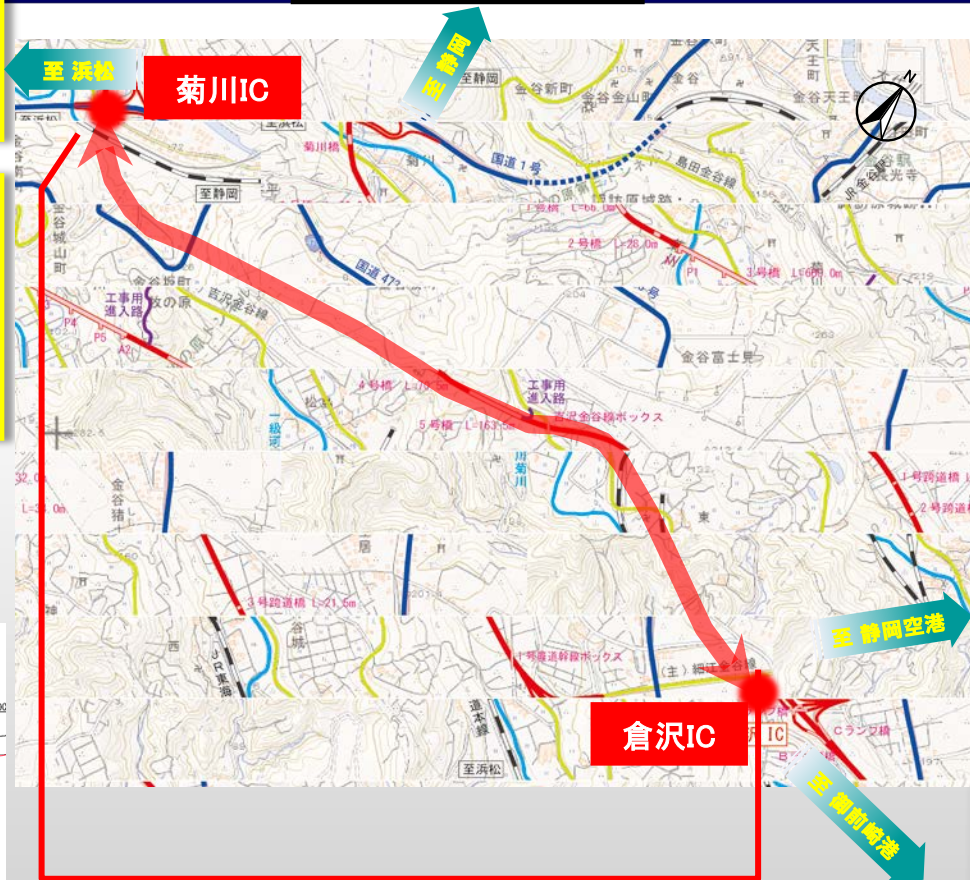
【事業概要】

事業期間:平成23年度～平成31年度
事業費 :160億円
事業延長:3.3km

【事業目的】

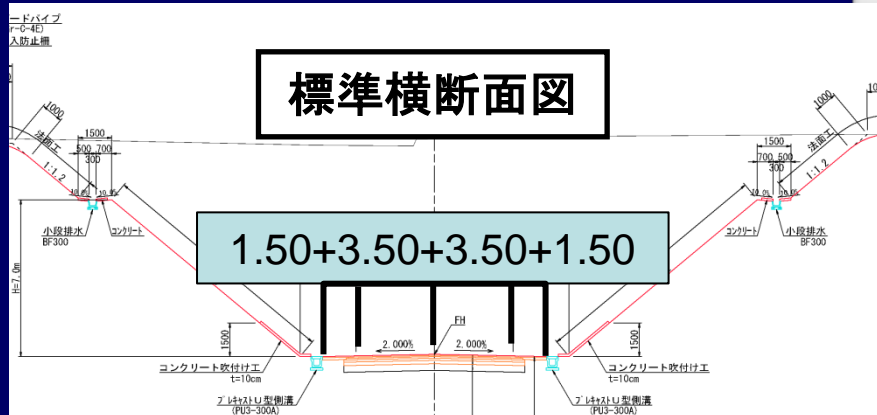
県内交通ネットワークにおける南北軸強化
（【陸】・【海】・【空】のアクセス）
産業・観光活性化への寄与

平面図



金谷相良道路Ⅱ 延長3.3km

標準横断面図



3 事業の投資効果(費用対効果の検証)

総費用(C)	141.60億円(現在価値換算)
建設投資額	141.47億円
維持管理費	1.27億円
用地残存価値	-1.14億円

総便益(B)	318.03億円(現在価値換算)
走行時間短縮便益	305.77億円
走行経費減少便益	12.25億円
交通事故減少便益	0.00億円(0.002億円)

費用対効果(B/C) 2.25

4 事業効果(県内交通ネットワークにおける南北軸強化)

■【陸】のアクセス:主要交通拠点間のアクセス向上



出典: 地理院地図(GSI Maps)を元に静岡県作成

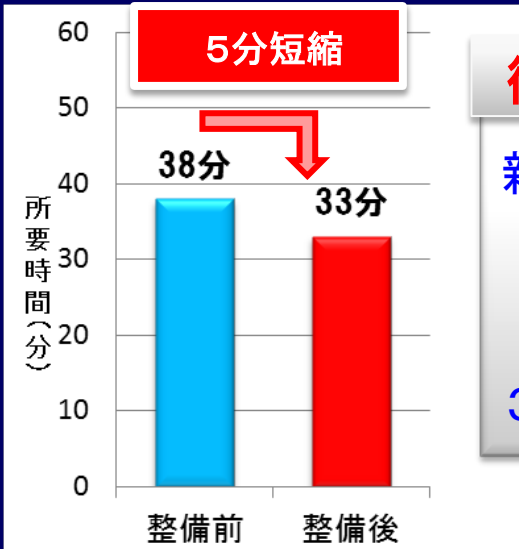
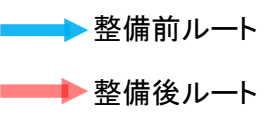
4 事業効果(県内交通ネットワークにおける南北軸強化)

- 【海】のアクセス:重要港湾である御前崎港へのアクセス向上
- 【空】のアクセス:富士山静岡空港へのアクセス向上

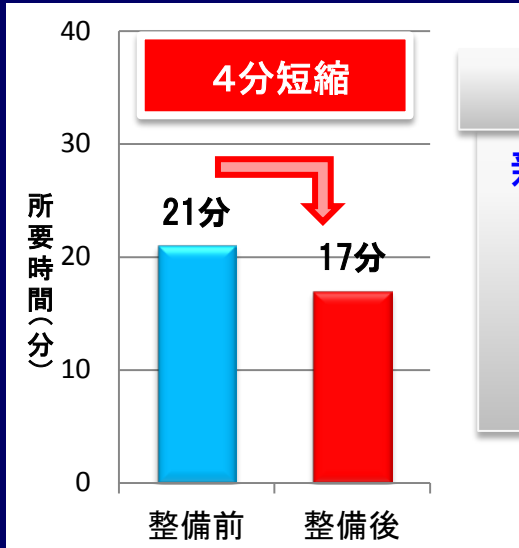


(再) 一道路—9

出典:地理院地図(GSI Maps)を元に静岡県作成



御前崎港とのアクセス
 新東名高速 島田金谷IC
 ⇕
 御前崎港
 38分→33分に5分短縮



空港とのアクセス
 新東名高速 島田金谷IC
 ⇕
 富士山静岡空港
 21分→17分に4分短縮

資料:H22道路交通センサス

5 便益算定の基礎となる数値

交通量・走行時間・走行時間費用

			整備なし(A)	整備あり(B)	
①新設・改築道路	交通量 ^{※1}	[台/日]	0	12,100	
	走行時間 ^{※2}	[分]	0	4.3	
	走行時間費用 ^{※3}	[億円/年]	0.00	9.73	
②主な周辺道路 ^{※4}	金谷相良道路Ⅱ	3.3km			
	②-1	交通量	14,000	10,900	
	国道473号	走行時間	12.3	11.1	
	現道	走行時間費用	31.90	22.79	
	5.7km	②-2	交通量	4,500	4,100
	県道234号	走行時間	14.0	14.0	
	6.6km	走行時間費用	11.99	10.88	
	②-3	交通量	13,700	10,600	
	県道381号	走行時間	4.6	4.0	
	2.0km	走行時間費用	12.94	8.99	
	②-4	交通量	11,200	8,600	
	並行農道	走行時間	3.7	3.6	
	1.8km	走行時間費用	8.71	6.64	
		交通量			
		走行時間			
	走行時間費用				
③その他道路合計	走行時間費用				
1387.7km		4,802.28	4,791.33		
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 1,407.1 km	走行時間短縮便益	[億円/年]	4,867.82	4,850.36	17.46

